男子仲西、女子神森九州へ

ハンド九州中学選抜県予選

ハンドボールの第33回九州中学生選抜大会県予選はANA ARENA浦添で、男女3チームのリーグ戦が行われた。1月上旬にあった県新人大会2～4位のチームによるリーグ戦。男子は仲西、女子は神森が2勝し、優勝した。2位は男女とも浦西。上位2チームが九州大会（3月・大分）に推薦される。

【男子】

▽リーグ戦

仲西 24（11－15、13－7）22 美東

仲西 25（9－6、16－10）16 浦西

浦西 25（10－4、15－14）18 美東

▽同順位 ①仲西2勝②浦西1勝1敗③美東2敗

【女子】

▽リーグ戦

神森 26（11－12、15－9）21 美東

神森 17（10－6、7－10）16 浦西

浦西 20（11－4、9－5）9 美東

▽同順位 ①神森2勝②浦西1勝1敗③美東2敗

女子決勝リーグ　神森一浦西　後半、パスを受け素早くシュートを決める神森の金城彩佳＝30日、浦添市仲間のANA ARENA浦添（新里圭蔵撮影）

1点守り逃げ切る　女子神森

ハイライト

2週間前の県大会で3位の神森が同2位の浦西との競り合いを制した。4点リードの後半、地力を見せる浦西にじわじわ詰め寄られる中、ポイントゲッターの金城彩佳が冷静ながらも強気の攻めでシュートをねじ込み、最後は1点差を守って逃げ切った。

チームは2年生5人の計13人。金城麗奈主将が昨年12月に手を負傷し、新人大会から欠場が続く。初戦の美東戦は後半に逆転しての勝利。多和田真尚監督は「人数が少ない中でよく踏ん張って戦ってくれた」とたたえた。

浦西戦はポストへのディフェンスを厚くし、相手の動きを封じた。堅実な守りから攻撃につなげ、前半は主導権を握った。後半は浦西の厳しいディフェンスで得点が伸び悩む。苦しい場面で金城彩がシュートを決めてチームを鼓舞した。

金城麗は「九州大会までにはけがも治る。県大会に出られなかった悔しさをぶつけ活躍したい。九州1位になって、次の県大会では（新人1位の）仲西と戦いたい」と成長を誓った。

（謝花史哲）

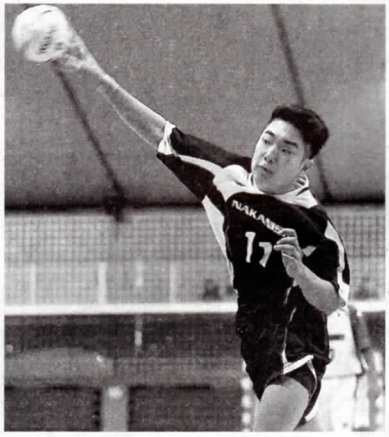
県新人2位実力を発揮

男子仲西

○…美東との接戦を勝ち抜いた仲西が勢いのまま浦西を下して九州大会出場を決めた。先の県新人2位の実力を発揮した。

互いに1勝で優勝を懸けた浦西との一戦。厳しい守備にも動じず、巧みなポストプレーなどで得点を重ねた。183㌢の下地叶也を中心にパスをつなぎ、25－16で圧倒した。守備ではGKの喜名志成が相手速攻の1対1を食い止める好セーブを連発し、流れを渡さなかった。

得点のたびにベンチも立ち上がり、チーム全体で喜びを共有。下地は「みんなで元気を出すことがテーマ。雰囲気を大事にしている」とチーム力に自信を持つ。九州大会で経験を積み「次こそ県内1位で全国大会に挑みたい」と前を見据える。



男子決勝リーグ　仲西一浦西　前半、速攻からシュートを決める仲西の村山仁還

優勝した仲西中のメンバー

優勝した神森中のメンバー

男子宮古など1回戦を突破

サッカー県高校新人

サッカーの県高校新人大会第1日は30日、南風原高校などで行われ、男子は首里東や宮古など、女子は普天間、球陽などが1回戦を突破した。

退 八重山商工、前原1－0糸満、北中城10－0真和志・中部商・南部農林、南風原10－0豊見城南、小禄1－0沖縄尚学、那覇国際3－1球陽、石川　辞退　八重山農林、コザ2－0北谷、与勝7－1陽明、宮古3－0尚陽、豊見城　辞退　嘉野座

【女子】

▽1回戦　普天間2－0北中城、那覇西1－0那覇国際、名護

社会人代表の優勝決定戦へ

ライスボウル、方式変更

日本アメリカンフットボール協会は30日、オンライン臨時理事会を開き、社会人代表と学生代表が対戦してきた日本選手権、ライスボウルの方式を見直し来季